

## 研究課題名 胆道閉鎖症術後の門脈圧亢進に伴う合併症の研究に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2006年1月から2021年6月までに当院で胆道閉鎖症手術を施行した患者を対象とします。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

目的 胆道閉鎖症術後の合併症として肝硬変に伴う門脈圧亢進があります。門脈圧亢進に伴い食道胃静脈瘤や脾腫が認められることがあり、それらの定期フォローや治療が予後に寄与するのか評価することを目的とします。

方法 2006年1月から2021年6月までに当院で胆道閉鎖症に対して、胆道閉鎖症根治術を行った患者の術中術後経過および予後について、診療記録より後方視的に検討します。基礎疾患や患者背景、手術時期、手術情報（術式、術中所見、手術時間、出血量、輸血量、麻酔等）、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後について診療録より抜粋し、検討します。

研究期間

実施承認日から2024年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、基礎疾患、手術時期、手術情報、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 住田 亙

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980